

令和6年度 第1回学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和6年5月21日(火) 14:40~16:30
- 2 開催場所 岩手県立大東高等学校 会議室
- 3 参加者 校外委員9名、校内委員5名、校内事務責任者1名、総務主任1名
- 4 次第 別紙資料表紙の通り
- 5 学校概要説明(説明は資料のとおり)・・・質問なし
- 6 協議(説明は資料のとおり)
 - (1) 本協議会の設置目的及び活動概況について・・・質問なし
 - (2) 役員選出
会長、副会長を1名ずつ選出
 - (3) 令和6年度 学校経営計画について・・・質問なし
 - (4) 令和6年度学校行事について・・・質問なし
 - (5) その他
 - ① 「大東高校 note」への記事の投稿について・・・質問なし

●各参加委員より

<A 委員>

普通科の在り方や学校としてのポジションを発信していくことが魅力化の発信となる。普通科の色(特色)について、よりビビットなものを発信する工夫が必要と考える。探求学習等を通じて、これらについて考えていく必要がある。

令和7年4月開業予定の道の駅について、情報ビジネス科の関わり方等も検討できればと思う。

<B 委員>

地域のために何ができるかというテーマは非常に難しい。大人でも考えつかないものである。アンケートの回答から本校生徒の意識は非常に高いと感じた。

<教務主任>

1、2年の探究活動を通じて地域と関わる力を育てている。

<F 委員>

野球部が地域のイベントに協力的であり、そういったボランティア活動が活かされていると思う。大東大原水かけ祭りでも人手不足は深刻で、高校からの協力をいただきたい。

<C 委員>

大東高校には、ボランティアスクール等に積極的に参加してもらっている。地域と直結した活動をとおして、より大きいものにしていただくことが魅力化になると考える。

<D 委員>

情報ビジネス科の模擬株式会社DjoBは起業家を育てる学びに直結し、魅力の一つである。普通科の学びも、推薦枠等充実させて、行きたい大学へ行けるようになってほしい。

昨年度は野球部と学童との交流ができた。野球部に限らず、他の部の方との交流もできれば、学童の保護者にも大東高校の魅力が伝わると思う。工作などで家庭クラブとの交流など、大原地区だけでなく興田地区の子供たちとも交流できればと思う。

<E 委員>

新しいイベントの大東フェスティバルでは、中学と高校のブースを設置予定である。企業連絡協議会で、生徒を対象とした就職ガイダンスや保護者への説明会などできないか検討し来月の総会で話せればと思う。

<F 委員>

先日 100 周年の会議で同窓生の方が生徒数の激減について嘆かれていた。子供たちはネットから情報を得ている。大東高校のホームページは写真も多く魅力的だが、中学生が見たいと思わせるような仕掛けが欲しい。住田高校では地域が交通費補助や給食支援等にも取り組んでいる。子供たちが地元の企業を知る機会がもっとあればよい。

<G 委員>

高校を選ぶ理由に部活動が占める割合は大きい。兄弟が通っているからという理由で学校を選ぶこともある。魅力化が中学生にどう伝わるかを考えると、出前授業などのイベントはありがたいと思う。

<H 委員>

桜町の生徒が4名もいることに驚いた。きめ細かい指導ができて大東高校が良いと考えてくれる生徒もいる。進路についても結果が出せていると感じる。口コミの効果が大きいと捉える。中学生用パンフレット等を子供たち目線で作り直すなど、そこに同窓会がお金を投資してくれたらとも考える。オープンキャンパスポスターなど目を引くものを作成して貼るなどもよいと思う。

<I 委員>

子供たちに大東に残ってもらうことが大事。大人も常に、大東はいいところだということの子供に話していきたい。学校の方針一つで卒業生の進路先ががらりと変わることもある。一関市内の企業は若い人を待っている。製造業等への地元就職希望者が増えることを願う。

7 その他

- ・第2回、第3回の学校運営協議会の日程について

8 所感

終始、とても和やかな雰囲気での会議が進み、有意義なご意見を多数頂戴した。委員の一人お一人から、大東高校と大東地域を盛り上げていきたいという意気込みが伝わった。いただいたご意見を今後の学校運営に生かしていきたい。